

# 資源評価調査委託事業（海洋環境）

## 太平洋定線観測（要約）

清藤真樹<sup>1</sup>・永峰文洋

### 目 的

青森県太平洋海域における海況情報を収集し、漁業者等に提供する。

### 材料と方法

青森県の太平洋定線において3月、6月、9月、12月の各月1回、seabird社製CTD・911plusによる表層から最深1000mまでの水温と塩分の測定、採水による塩分、クロロフィルの測定、プランクトン、卵稚仔の採取を実施し、各流勢指標を平年（1963～2013年平均値）と比較した。また、収集・分析した情報は、ウオダス漁海況速報や水産総合研究所のホームページ等を通じ公表した。

### 結 果

定線観測結果を下表に示す。

3月は、津軽暖流の各層水温は0m層が「はなはだ低い」、50m層が、100m層が「かなり低い」、水塊深度は「やや浅い」、津軽暖流の東方への張り出しは「やや弱い」だった。

6月は、津軽暖流の各層水温は0m層が「やや低い」、50m層、100m層が「平年並み」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しは「やや弱い」であった。

9月は、津軽暖流の各層水温は、0m層が「平年並み」、50m層が「やや高い」、100m層で「平年並み」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しは「平年並み」であった。

12月は、津軽暖流の各層水温は0m層、50m層、100m層共に「平年並み」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しは「はなはだ強い」であった。

表 観測結果から算出した平年比（平年比%：平年偏差／標準偏差×100）

観測項目（平年比）	3月	6月	9月	12月	階級	平年比の範囲	
各層最高水温（℃）	0m	-250	-108	+49	-21	平年並み	±60%未満
	50m	-154	-18	+81	-9	や や	±130%未満
	100m	-194	-31	+55	0	か な り	±200%未満
水塊深度（m）	-98	-49	+46	+35	はなはだ	±200%以上	
張出位置（東経）	-95	-100	+26	+218			

<sup>1</sup>青森県農林水産部水産局水産振興課

発表誌：平成26年度漁海況予報関係事業結果報告書（青森県資源管理基礎調査），平成27年7月

平成26年度定線観測結果表，平成27年7月